



障害者スポーツ

編集・発行

特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会

URL:<https://syospo-tochigi.org/>

〒320-8508 宇都宮市若草1丁目10番6号

とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター内

TEL.028(624)2761(FAX兼用)

発行人 麦倉 仁巳

東京2020パラリンピックで躍動 本県ゆかりの3選手大いに輝く！



左上：高松 義伸 選手
(車いすバスケットボール男子 銀)

左下：大谷 桃子 選手
(車いすテニス 女子ダブルス 銅)

右上：眞田 卓 選手
(車いすテニス 男子ダブルス 4位入賞)

東京2020パラリンピックが2021年8月24日(火)～9月5日(日)の13日間で開催されました。

東京パラリンピックには本県ゆかりの3選手が出場し、車いすバスケットボール(男子)では高松義伸選手が銀メダルを、車いすテニスでは女子ダブルスで上地結衣選手と組んだ大谷桃子選手が銅メダルを獲得し、男子ダブルスで国枝慎吾選手と組んだ眞田卓選手が4位に入賞するなど熱戦を繰り広げました。

東京パラリンピックは、コロナ禍の中、多くの県民・国民に『夢』と『生きる勇気』そして『感動』を与えてくれました。改めてスポーツは、「共生社会」の実現をめざすツールとして重要であると感じました。3年後のパリ大会でも選手の皆様のご活躍を期待しています。

東京2020パラリンピック本県ゆかりの3選手紹介



【氏名】高松義伸

【競技】車いすバスケットボール

【出身地】小山市

【所属】栃木レイカーズ

【選手情報】

パラリンピックは初めての出場。病気により左足太ももから切断、高校から車いすバスケットボールを始めた。チームでトップクラスの運動量を誇る。新型コロナウイルスの影響で延期となった1年間で急成長し、日本代表に抜てきされた。日本体育大学3年。

【氏名】大谷桃子

【競技】車いすテニス

【出身地】栃木市

【所属】かんぽ生命

【選手情報】

小学3年からテニスを始め高校総体にも出場。卒業後入退院を繰り返し車いす生活に。大学進学後の20歳で車いすテニスを始め、2020年には全米オープンで四大大会初出場。全仏では準決勝で世界ランク1位を破る快進撃で準優勝。パラ出場条件となる世界ランキング5位。パワフルなテニスが強み。

【氏名】眞田卓

【競技】車いすテニス

【出身地】那須塩原市

【所属】凸版印刷

【選手情報】

19歳の時にオートバイ事故で右足を切断、中学時代のソフトテニスの経験を生かし車いすテニスを始める。2011年から世界ツアーリオに参戦。フォアハンドの強打が持ち味。2016年のリオのパラリンピックでは三木拓也選手と組んだ男子ダブルスで4位。3大会連続出場。パラ出場条件の世界ランクは10位。

東京2020パラリンピック聖火フェスティバル 「栃木県採火・出立式」を行いました

8月24日の東京2020パラリンピックの開会を前に、聖火となる火の採火・出立式をわかくさアリーナ駐車場（宇都宮市）で行いました。当初、県と県内25の市町で採火した火を一つに集める予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により25市町での採火は中止し、無観客で県のみの開催となりました。式では、県産の木材「日光杉」を使った巨大な火起こし器に巻きつけたロープを左右に繰り返し引き、摩擦によって火を起こす「マイギリ式」と呼ばれる伝統的な方法で採火。採火された火は、佐野市の伝統工芸品「天明鑄物」の聖火皿に移され、2012年のロンドンパラリンピックに車いすバスケットボールの男子日本代表として出場した増渕倫巳さんがトーチに点火しました。



左から、阿部寿一県議会議長、麦倉仁巳障ス
ポ協会長、増渕倫巳さん、福田富一県知事



増渕倫巳さん、
福田富一県知事



火がともった聖火皿

令和3(2021)年度 第22回全国障害者スポーツ大会「いちごー会とちぎ大会」 栃木県強化指定選手(アスリートゴールドリーダー)を任命



令和3(2021)年6月20日(日)、宇都宮市文化会館 小ホールにて第22回全国障害者スポーツ大会「いちごー会とちぎ大会」栃木県強化指定選手(アスリートゴールドリーダー)任命式を開催しました。

強化指定選手制度は、令和4(2022)年に本県で開催される第22回全国障害者スポーツ大会「いちごー会とちぎ大会」に向け、選手の競技力及び取組意欲の向上を目的として令和元(2019)年度より発足した制度で、県障害者スポーツ大会等において優秀な成績を収めた選手を強化指定選手(アスリートゴールドリーダー)として任命しています。今年度は、個人競技100名・団体競技166名の総勢266名が強化指定選手として任命されました。



第1部：式典

式典には、選手・役員及び関係者が出席し、266名のアスリートゴールドリーダーを代表して、松下裕哉選手(陸上競技)と落合有佳利選手(水泳競技)が、更なる競技力の向上と、「いちごー会とちぎ大会」での活躍を誓いました。

第2部：特別講演

「夢に向かって挑戦！～いまできることを大切に～」

広州アジア大会金メダリスト・やり投げ元女子日本記録保持者 海老原 有希 さん



本県出身の海老原有希さんに「夢に向かって挑戦！～いまできることを大切に～」という演題でご講話をいただきました！講話の中では、海老原さんが競技人生から学んだ「人との出会いを大切にすること」「必ずしも成功ばかりではない」「努力の継続と我慢が自己実現への一番の近道」というお話や、出場者しか知ることができないオリンピックの裏事情など興味深い内容についてご講話をいただきました。コロナ禍の中、思うように練習や練習の成果を発揮する機会が失われている選手たちは、とても勇気づけられ、モチベーションアップにつながったのではないかと思います。海老原さん、本当にありがとうございました。

卓球バレー教室・大会開催

第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一會とちぎ大会」のオープン競技として開催する卓球バレーの一層の普及・振興を図ることを目的に、わくくさアリーナで開催しました。

＜卓球バレー教室の様子＞



令和3年7月17日(土)に実施しました。教室終了後、参加者からは、「こんなに楽しい競技があるとは知らなかった」「もっと、早く知りたかった」との感想がありました。

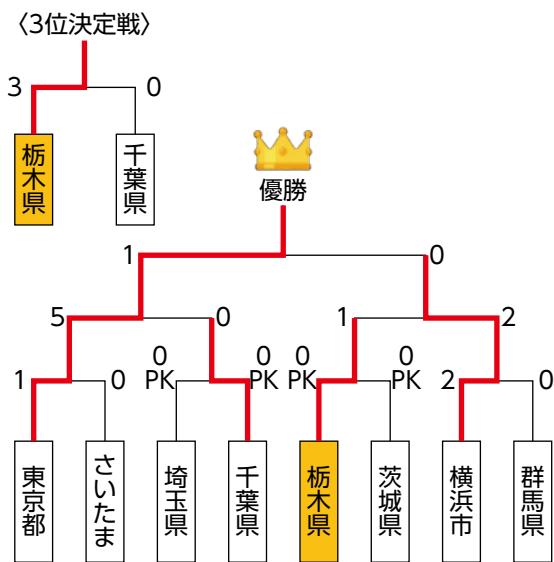
＜卓球バレー大会の様子＞



令和3年7月24日(土)に開催しました。参加者からは、「いちご一會とちぎ大会」のオープン競技として開催される卓球バレー大会に是非参加したいとの感想がありました。

第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 サッカー競技関東ブロック地区予選会大会結果報告

4月24日(土)・25日(日)埼玉県サッカー協会フットボールセンターで行われた第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」サッカー競技関東ブロック地区予選会に出場しました。本県は、第3位となりました。年々、実力が上がり、選手の頑張りに拍手です。



第21回全国障害者スポーツ大会、各団体競技関東ブロック地区予選会の結果について

サッカー以外の競技は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、関プロ代表を決定するため抽選等を行った結果は次のとおりです。バレーボール(聴覚・男子)1位、バレーボール(聴覚・女子)出場辞退、バスケットボール(知的・男子)1位、バスケットボール(知的・女子)5位、車いすバスケットボール出場辞退、ソフトボール3位、グランドソフトボール4位、バレーボール(知的・男子)3位、バレーボール(知的・女子)2位、バレーボール(精神)3位、フットベースボール5位

第21回全国障害者スポーツ大会(三重とこわか大会)中止について

10月23日(土)～25日(月)に、三重県での開催が予定されていた第21回全国障害者スポーツ大会(三重とこわか大会)については、新型コロナウィルス感染症の影響で中止となりました。

栃木県選手団は、個人競技44名、団体2競技20名の選手が参加予定でした。令和元年(茨城大会)から3年連続中止となり、選手がこれまでに練習で培ってきた成果を発揮できず、残念でなりません。大会は中止となりましたが、栃木県代表選手を下記のとおり紹介します。来秋に本県で開催される「いちご一会とちぎ大会」では、一人でも多くの選手が活躍することを期待しています。

栃木県代表選手紹介

個人競技 44名

陸上競技 19名

視覚障害	岩池 優希
肢体不自由	加藤 凜香
	吉田 哲朗
	神山 賢太郎
	浅野 俊也
聴覚障害	飯島 恵美
	原 伸也
知的障害	仲井 真大
	白井 悠斗
	松下 裕哉
	杉本 悠夢
	木村 勇翔
	樋山 達也
	中川 壮気
	澤田 阳南
	日野 花音
	長谷川 菜々美
穂積 正江	
加藤 公美	

卓球 6名

肢体不自由	薄井 弘幸
	田野倉 样子
視覚障害	坂田 英樹
知的障害	櫻井 伸彬
	花塚 海
精神障害	森 義夫

フライングディスク 8名

肢体不自由	小塙 古口
	日向野 修
知的障害	坂本 邦雄
	藤沼 働平
	星野 桃也
	森 純也
	早乙女 夢維

水泳 7名

肢体不自由	大島 未来
	吉原 一法
知的障害	齋藤 光章
	中村 海晴
	植竹 暖
	澤田 暖
	佐藤 洋介

ボウリング 1名

知的障害	町田 靖晃
------	-------

ボッチャ 2名

肢体不自由	峯岸 増子
	裕之 亮

アーチェリー 1名

肢体不自由	大塚 忠胤
-------	-------

団体競技 20名

バスケットボール (知的・男子) 12名

中村 俊介	武田 幸基
吉沢 拓也	小林 光瑠
市村 俊太	染谷 莉緒
松島 亘亨	矢野 剛士

バレーボール (聴覚・男子) 8名

鎌田 英治	大豆生田 隼輝
大澤 洋稔	星野 幹志
森田 真也	横山 真也
若原 正享	

第22回全国障害者スポーツ大会リハーサル大会 兼第18回栃木県障害者スポーツ大会のお知らせ

【期 日】 令和4(2022)年5月21日(土)、22日(日)

※荒天又はその他の都合により、主催者と競技主管団体等と協議の上、実施出来ないと判断した場合は中止とします。

【主 催】

栃木県、宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、小山市、真岡市、大田原市、那須塩原市、那須烏山市、(一財)栃木県身体障害者福祉社会連合会、(一社)栃木県視覚障害者福祉協会、(一社)栃木県聴覚障害者協会、(一社)栃木県手をつなぐ育成会、(一財)栃木県精神衛生協会、(社福)栃木県社会福祉協議会、(特非)栃木県障害者スポーツ協会、栃木県障がい者スポーツ指導者協議会、栃木県特別支援学校長会、栃木県中学校教育研究会特別支援教育部会、(公財)栃木県スポーツ協会

■出場資格

(1) 出場選手は、次の全ての条件を満たす者とする。

ア 年齢要件

(ア) 個人競技については、令和4(2022)年4月1日現在で12歳以上である者。

(イ) 団体競技については、令和4(2022)年4月1日現在で13歳以上である者。

イ 資格要件

(ア) 身体障害者手帳の交付を受けた者。

(イ) 療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者。

(ウ) 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者。

ウ 個人競技については、原則として栃木県内に現住所を有する者又は栃木県内に所在する施設や学校等に入所、通所及び通学している者。ただし、アーチェリー、ボッチャは除く。

エ 団体競技については、申込み時に参加する都県・指定都市に現住所(住民票のある地)を有する者。ただし、学校に通学している者及び施設に入所・通所している者は、その学校及び施設の所在地の都県・指定都市でも参加できるものとする。

(2) 団体競技に出場するチームは、関東ブロックの都県・指定都市の代表チーム。

■参加申込方法

(1) 個人競技

参加希望者は、所定の参加申込書により、取りまとめ団体(市町、学校、施設等)を通じて申し込みるものとする。

(2) 団体競技

参加チームの派遣を行う関東ブロック内の都県又は指定都市(以下、「派遣団体」という。)は、所定の参加申込書により、実行委員会事務局へ申し込むものとする。

■申込期間 令和3(2021)年12月1日(水)～令和4(2022)年1月14日(金)必着とする。

■参加申込書の提出先及び問い合わせ先

個人競技における取りまとめ団体及び団体競技における派遣団体は、封筒に「二つ折り厳禁・参加申込書在中」と朱書きし、参加申込書を下記へ送付又は持参すること。

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20

いちご一とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会事務局

(栃木県 国体・障害者スポーツ大会局 全国障害者スポーツ大会課 競技運営担当)

TEL:028-623-3530 (直通) FAX:028-623-3527

※令和4(2022)年度栃木県強化指定選手及び第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一とちぎ大会」に派遣する個人競技の選手の募集の申込期間及び申込書提出先と異なりますのでご注意ください。



■その他

上記内容は、抜粋ですので、詳細はいちご一とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会事務局にお問い合わせください。

令和4(2022)年度栃木県強化指定選手及び第22回全国障害者スポーツ大会 「いちご一會とちぎ大会」に派遣する選手の募集について

①いちご一會とちぎ大会に向けて本県を代表する選手の取組意欲向上及び競技力向上を図ることを目的に個人競技の強化指定選手を募集します。

②いちご一會とちぎ大会の開催に当たり個人競技の出場選手を募集します。

第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一會とちぎ大会」

○開催期間：令和4(2022)年10月29日(土)～10月31日(月)

※派遣期間：令和4(2022)年10月27日(木)～10月31日(月)※県が指定する施設に宿泊する期間

◆申込期間 令和3(2021)年12月17日(金)～令和4(2022)年1月21日(金)

◆申込方法 「自薦」と「他薦」の2通りの方法があります。

(1)他薦の場合：所属する団体にお問い合わせください。

(2)自薦の場合：所定の申込用紙に必要事項を記入し、原則としてメールにてお申し込みください。
(郵送・持参も可)

◆申込先・問合せ先 (特非) 栃木県障害者スポーツ協会 (TEL/FAX: 028-624-2761)

Email … entry@syospo-tochigi.org

ホームページURL … <https://syospo-tochigi.org/>

※1 令和4(2022)年度栃木県強化指定選手の申込書は、いちご一會とちぎ大会の申込書を兼ねておりますので、お申込みいただく際は記載漏れのないようにお願いします。

※2 第22回全国障害者スポーツ大会リハーサル大会兼第18回栃木県障害者スポーツ大会の申込期間及び申込書提出先と異なりますのでご注意ください。

※3 詳細については、決まり次第当協会のホームページ等でお知らせします。

令和3年度ボッチャ教室参加者募集のお知らせ

【対象】 令和3年4月1日現在で12歳以上の方のうち県内在住又は在勤の方

【期日】 令和4年1月29日(土)

【時間】 14:00～16:00

【会場】 とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター(わかくさアリーナ)
宇都宮市若草1-10-6

※申込方法、締切等の詳細については、決まり次第当協会ホームページ等でお知らせします。



中止となった行事

- ・第21回全国障害者スポーツ大会、各団体競技関東ブロック地区予選会(サッカー競技を除く)
- ・第17回栃木県障害者スポーツ大会
- ・コントロール・アタック教室
- ・第12回栃木県障害者コントロール・アタック大会
- ・益子町、栃木市、那須塩原市(黒磯)、矢板市スポーツ教室

賛助会員の紹介及び募集について 皆様からの温かいご支援ありがとうございます



団体(法人) 17団体

※敬称略

(社福)エルム福祉会	大田原市身体障害者福祉会	(株)オオミヤ
佐野市スポーツ協会	電機連合栃木地方協議会	(株)デンソーテン 小山製作所
栃木県水泳連盟	(公財)栃木県スポーツ協会	栃木市身体障害者福祉会連合会岩舟支部
(一社)栃木県バスケットボール協会	(株)成岐	ハウスコム(株)
(社福)パステル	(株)大和義肢製作所	(社福)渡良瀬会 らふ

個人 55名

※敬称略

阿部テル子	荒井 勝夫	伊澤 源水
石田 晴彦	石橋 俊一	井野 康資
入江 容	薄井 幸子	大塚 太一
大貫 憲司	大渕 利枝	小澤 洋子
加藤 朋子	川村 博行	木下 卓己
黒崎マツエ	黒須 高	佐藤 直久
瀧谷 貢一	菅谷 薫	鈴木 重成
高根澤利夫	高根澤雅子	高橋 一徳
竹澤 実花	田邊 恭子	俵谷 光俊
土田 弘子	粒来 紀男	手塚 裕子
内藤 進	仲田 盛一	中林 忠男
成田きょう子	仁平真理子	野尻 政彦
狭間 芳美	橋本 久夫	服部 隆志
平野 義隆	広瀬 浩	前田 則隆
前原 章一	松山 裕	水沼 方昭
村上 八郎	茂呂 久雄	八木沢義雄

※氏名の掲載を希望されない方のお名前は控えさせていただいております。

※令和3年10月31日現在

※日本アムウェイ合同会社様から消毒液とマスクの寄贈を受けました。大変ありがとうございます。

賛助会員募集のご案内



会員の種類及び会費について

個人会員	1口 3,000円	団体会員	1口 5,000円
------	-----------	------	-----------

当協会では障害者スポーツ大会の開催及び第22回全国障害者スポーツ大会出場に向けた選手の強化のほか、障害者が身近なところでスポーツやレクリエーションに親しめるよう、講習会や普及活動、またスポーツ・レクリエーション用具の貸出等の事業を行っています。

活動の趣旨にご賛同・ご支援いただける企業・団体・個人の皆様を賛助会員として募集しております。賛助会員へのご加入につきましては、お気軽に事務局までお問合せください。



この機関紙は、赤い羽根共同募金の助成金により発行しています。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。